

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第34号	
事故等種類	損傷（岸壁）	
発生日時	平成21年1月28日 00時25分ごろ	
発生場所	大分県大分港日吉原泊地東防波堤灯台から真方位242° 1,700m付近 (概位 北緯33° 15.1′ 東経131° 45.3′)	
事故等調査の経過	平成21年3月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	引船 くにさき丸、197トン	
船舶番号、船舶所有者等	134573、グリーン SHIPPING株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 損傷なし 岸壁 側面コンクリートが損壊	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、大分港の大在公共ふ頭1号岸壁を離岸し、同港大在7号地（以下「埋立岸壁」という。）を右舷に見て北進中、1人で船橋当直に当たっていた船長が、右舷船首方に大分港日吉原泊地東防波堤灯台の灯火を視認したことから、埋立岸壁を通り過ぎたものと思い込み、同岸壁の北辺に沿って東進する針路とするつもりで右舵をとったところ、平成21年1月28日00時25分ごろ、船首が、埋立岸壁西岸の北側に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好、月齢 1.7 海象：潮汐 下げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長は、埋立岸壁に照明がなく、夜間、目視しにくい状況下、レーダーを作動させず、周囲の適切な見張りを行っていなかったものと考えられる。 船長は、埋立岸壁を右舷側に見て北進中、灯台の灯火を右舷船首方に視認したので、同岸壁を通り過ぎたものと思い込み、右舵をとったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が大分港内を航行中、周囲の適切な見張りを行わなかったため、右舷側の埋立岸壁に向けて右舵をとり、同岸壁西岸の北側に衝突したことにより発生したものと考えられる。	